



報道関係各位

2021年10月29日  
「夢・化学-21」委員会  
公益社団法人日本化学会

## 「化学グランプリ 2021」各賞受賞者が決定！

「夢・化学-21」委員会\*と日本化学会は、毎年、中高校生を対象に「化学グランプリ」（通称：化学の甲子園、<https://gp.csj.jp>）実施しております。10月17日（日）にリモート形式で「化学グランプリ 2021」の二次選考を実施し、各賞の受賞者を選出いたしました。みごと大賞を受賞したのは以下の5名です。

永安 智哉（ナガヤス トモヤ）	白陵高等学校（兵庫県）	3年生
内田 創太（ウチダ ソウタ）	山梨県立甲府南高等学校（山梨県）	3年生
八木 俊輔（ヤギ シュンスケ）	山口県立徳山高等学校（山口県）	3年生
村井 皓太郎（ムライ コウタロウ）	筑波大学附属駒場高等学校（東京都）	3年生
馬淵 理（マブチ サトル）	愛知県立刈谷高等学校（愛知県）	3年生

二次選考には119名が参加し、大賞5名のほか、18名が金賞、17名が銀賞、40名が銅賞に選ばれました。各賞の受賞とはならなかった39名は奨励対象者となります。

大賞以下、各賞の受賞者につきましては、添付の参考資料をご覧ください。

化学グランプリは、全国の中高生に化学への興味・関心を喚起し、意欲・能力を高め、世界にも通用する若い化学者を育成することを目的に、1999年より開催しています。23回目の本年も昨年に続いて、COVID-19の感染拡大を受けまして開催時期の延期や実施方法の変更を行い、一次選考を7月22日（木・海の日）にオンライン試験、二次選考は10月17日（日）にリモートで筆記試験を実施しました。

### ◆国際化学オリンピックへの生徒派遣について

世界約80ヶ国・地域の高校生が化学の実力を競い合う『国際化学オリンピック』の日本代表生徒は、化学グランプリで優秀な成績を収めた生徒を中心に選出されます。来年7月の『国際化学オリンピック』は第54回大会が中国・天津での開催が予定されています。今年も国際大会に向けて、本グランプリに参加した中学3年生・高校1・2年生の生徒から20名程度を代表候補生徒として認定し、代表候補生徒全体の中から、選抜試験を経て代表生徒を決定する予定です。

※「夢・化学-21」委員会は公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

#### お問い合わせ先

公益社団法人日本化学会 : 大倉、日置 TEL 080-7398-0468 [grand-prix@chemistry.or.jp](mailto:grand-prix@chemistry.or.jp)  
一般社団法人日本化学工業協会 : 山縣 TEL 03-3297-2555

<参考資料>

各賞受賞者

賞	氏名	フリガナ	学校所在地	学校名	学年
大賞 5名	永安 智哉	ナガヤス トモヤ	兵庫県	白陵高等学校	3年
	内田 創太	ウチダ ソウタ	山梨県	山梨県立甲府南高等学校	3年
	八木 俊輔	ヤギ シュンスケ	山口県	山口県立徳山高等学校	3年
	村井 皓太郎	ムライ コウタロウ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	3年
	馬淵 理	マブチ サトル	愛知県	愛知県立刈谷高等学校	3年
金賞 18名	相原 一樹	アイバラ カズキ	神奈川県	栄光学園高等学校	2年
	安藤 大修	アンドウ ダイスケ	茨城県	茨城県立並木中等教育学校	6年
	井口 雅輝	イグチ マサキ	愛知県	東海高等学校	2年
	伊藤 陽莉	イトウ ヒヨリ	兵庫県	白陵高等学校	3年
	井戸沼 悠成	イドヌマ ユウセイ	東京都	筑波大学附属駒場中学校	2年
	川上 雄大	カワカミ ユウダイ	広島県	広島学院高等学校	3年
	京 具輝	キョウ トモキ	兵庫県	灘高等学校	3年
	徳田 陽向	トクダ ヒナタ	京都府	京都府立洛北高等学校	3年
	直井 勝己	ナオイ マサキ	神奈川県	浅野高等学校	2年
	西尾 朋人	ニシオ トモヒト	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	3年
	西村 春人	ニシムラ ハルト	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	2年
	橋本 啓佑	ハシモト ケイスケ	広島県	広島学院高等学校	3年
	橋本 大志	ハシモト タイシ	富山県	富山県立富山中部高等学校	3年
	福本 翼	フクモト ツバサ	奈良県	奈良県立奈良高等学校	3年
	細見 萌瑛	ホソミ モエ	長崎県	長崎県立長崎東高等学校	3年
	松田 康生	マツダ コウセイ	東京都	麻布高等学校	3年
	藪本 快都	ヤブモト カイト	和歌山県	和歌山県立向陽高等学校	3年
	油田 尊	ユダ タケル	神奈川県	栄光学園高等学校	3年
銀賞 17名	飯田 奈那	イイダ ナナ	東京都	白百合学園高等学校	3年
	岩田 涼雅	イワタ リョウガ	宮城県	宮城県仙台二華高等学校	2年
	岡本 伊万里	オカモト イマリ	神奈川県	神奈川県立横浜翠嵐高等学校	3年
	柏井 史哉	カシワイ フミヤ	群馬県	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	5年
	城井 峻佑	キイ リョウスケ	長野県	長野県松本深志高等学校	3年
	楠元 康生	クスモト コウキ	福岡県	久留米大学附設高等学校	3年
	窪田 智之	クボタ トモユキ	宮城県	仙台市立仙台青陵中等教育学校	6年
	畔柳 貴司	クロヤナギ タカシ	神奈川県	栄光学園高等学校	2年
	鳶根 亮	シマネ リョウ	埼玉県	栄東高等学校	3年
	田口 峻大	タグチ シュンタ	広島県	広島学院高等学校	2年
	土屋 亘正	ツチヤ コウセイ	大阪府	大阪星光学院高等学校	3年
	成川 幸希	ナルカワ サイキ	徳島県	徳島市立高等学校	3年
	花井 英介	ハナイ ヒデアキ	愛知県	愛知県立旭丘高等学校	3年
	蓬萊 嶺太郎	ホウライ リョウタ	奈良県	西大和学園高等学校	2年
	三宅 智史	ミヤケ サトシ	愛知県	東海高等学校	2年
	三好 都和	ミヨシ トワ	福岡県	久留米大学附設高等学校	3年
	横山 愛子	ヨコヤマ アイコ	富山県	富山県立富山中部高等学校	3年

賞	氏名	フリガナ	学校所在地	学校名	学年
銅賞 40名	赤澤 奏伍	アカザワ ソウゴ	広島県	広島学院高等学校	2年
	秋山 佑人	アキヤマ ユウト	福岡県	久留米大学附設高等学校	2年
	新垣 守倫	アラカキ シュリ	沖縄県	沖縄県立開邦高等学校	3年
	有近 智乃	アリチカ トモノ	千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校	3年
	石川 貴士	イシカワ タカシ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	1年
	石川 亮太	イシカワ リョウタ	千葉県	千葉県立東葛飾高等学校	2年
	伊藤 千尋	イトウ チヒロ	愛知県	南山高等学校・女子部	2年
	今井 爽人	イマイ アキト	神奈川県	栄光学園高等学校	3年
	上田 裕崇	ウエダ ユタカ	愛知県	東海高等学校	3年
	大戸 由己	オオト ユウキ	兵庫県	兵庫県立神戸高等学校	3年
	尾崎 秀真	オザキ シュウマ	三重県	高田高等学校	3年
	越智 幸祈郎	オチ コウキロウ	兵庫県	灘高等学校	2年
	萱嶋 洗貴	カヤジマ コウキ	兵庫県	白陵高等学校	3年
	川上 航平	カワカミ コウヘイ	福岡県	久留米大学附設高等学校	2年
	川田 獅大	カワタ レオト	兵庫県	灘高等学校	2年
	桐山 賢斗	キリヤマ ケント	愛知県	東海高等学校	2年
	草深 孝太	クサフカ コウタ	兵庫県	灘高等学校	2年
	黒田 優人	クロダ ユウリ	大阪府	大阪府立北野高等学校	3年
	黄 翌成	コウ ヨクセイ	兵庫県	灘高等学校	3年
	後藤 大和	ゴトウ ヤマト	大分県	大分東明高等学校	3年
	斉藤 由延	サイトウ ヨシノブ	兵庫県	灘高等学校	2年
	佐藤 弘康	サトウ ヒロヤス	埼玉県	栄東高等学校	2年
	鈴木 優樹	スズキ ユウキ	愛知県	滝高等学校	2年
	田口 祐実	タグチ ユミ	奈良県	奈良県立奈良高等学校	3年
	長徳 大智	チョウトク ダイチ	富山県	富山県立富山中部高等学校	3年
	辻 圭一郎	ツジ ケイイチロウ	長崎県	青雲高等学校	3年
	中地 明	ナカチ アキラ	北海道	立命館慶祥高等学校	2年
	名手 康一郎	ナテ コウイチロウ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	2年
	藤本 直樹	フジモト ナオキ	大阪府	大阪府立天王寺高等学校	3年
	藤谷 恒輝	フジヤ コウキ	東京都	早稲田高等学校	2年
	古庄 棟振	フルショウ ムネノリ	福岡県	久留米大学附設高等学校	3年
	堀江 佑太朗	ホリエ ユウタロウ	茨城県	江戸川学園取手高等学校	3年
	松本 賢人	マツモト ケント	石川県	金沢大学附属高等学校	3年
	三石 快	ミツイシ カイ	神奈川県	聖光学院高等学校	3年
	宮川 蒼惟	ミヤガワ アオイ	愛知県	愛知県立岡崎高等学校	3年
	山下 航弥	ヤマシタ コウヤ	大阪府	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	2年
	山田 恭輔	ヤマダ キョウスケ	広島県	広島学院高等学校	3年
	山根 総太郎	ヤマネ ソウタロウ	兵庫県	白陵高等学校	3年
	山本 樹	ヤマモト イツキ	大阪府	大阪府立四條畷高等学校	2年
	渡邊 雄斗	ワタナベ ユウト	千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校	2年

## ◆国際化学オリンピック IChO(=International Chemistry Olympiad)

1968年に東欧3カ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の学力コンテストから発展した、1年に1度開催される高校生の「化学」の国際大会。今年も昨年より続いたCOVID-19感染拡大のため、リモート形式の筆記試験が行われました。

大会は通常、毎年7月に10日間開かれ、それぞれ5時間に及ぶ実験課題と理論問題が出題され個人単位で競われます。成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)がそれぞれ贈られます。

日本は2003年のアテネ大会より参加しており、2004年のドイツ・キール大会から毎年連続で参加生徒全員がメダルを獲得しています。

2010年に国際化学オリンピックを日本・東京で初めて開催し、今年、日本で2回目の国際化学オリンピックを開催しました。

## ◆「夢・化学-21」委員会について

「夢・化学-21」委員会\*は、化学の啓発と化学産業の社会への貢献の理解促進を目的に1993年に発足しました。同委員会では、日本の将来を担う小中高生を主な対象とした活動を展開。化学グランプリのほか、化学の面白さや不思議さを通じて、化学技術の重要性や化学製品の有用性を知ってもらうため「子ども化学実験ショー」や、「なぜなに?かがく実験教室」などの実験体験活動などを行っています。

※公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

「夢・化学-21」ウェブサイト <https://www.kagaku21.net>